

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2013年7月25日
JAM熟練技能継承推進室

(株)ユニテックでの技能指導が全国紙に

～朝日新聞経済面のコラム記事に掲載される～

埼玉県桶川市の株式会社ユニテックでは、昨年11月から2名の従業員が、高度熟練技能者から普通旋盤の実技指導を受けている。

(2012年11月トピックス「JAM関連企業で事業活用」で既報)

同社では今年度に入って、技能検定試験会場の指定を受けられるように旋盤を整備し、高度熟練技能者による検定試験受検への本格的な指導が実施されている。

こうした状況が、朝日新聞社で日本のものづくりの今後に関心を寄せている編集委員の目にとまり、技能指導現場に取材が入り、取材をもとにした記事が、朝日新聞の7月21日(日)号の経済面のコラム「波聞風聞(はもんふうもん)」に掲載された。

記事は「匠の技 伝承待ったなし」と題され、JAMが進めている「熟練技能継承事業」による指導現場のようすや、汎用旋盤を学ぶことの必要性、経験や勘に基づく「暗黙知」を伝承することの重要性にも言及している。

さらに、「日本のものづくりを高度化するには、匠の技の伝承が大切」と記され、最後に「技能を伝えられないと、死んでも死にきれない」との高度熟練技能者の声で締めくくられている。



技能指導している(左)ようすを撮影する記者(右)



技能検定2級の課題に取り組むユニテックの若手社員



高度熟練技能者の伊藤さん(右)に質問する記者(左)